

冬の風物詩 冬咲きぼたん展

2018年1月13日(土) ~ 2月25日(日)
※休園日：月曜日(休日の場合は翌日休園)

ひばの里 さとやま屋敷
2017年2月5日撮影

鳥
錦

お問い合わせ先

国営備北丘陵公園 備北公園管理センター
〒727-0021 広島県庄原市三日市町 4-10

企画課長： 竹本(たけもと)

企画係長： 末長(すえなが)

TEL：0824-72-7000 FAX：0824-72-7828

ホームページ：<http://www.bihoku-park.go.jp>



国営備北丘陵公園

PRESS RELEASE

#30.1.5

真つ白な雪景色に生える、
色鮮やかな冬咲きぼたん。

冬の日本庭園の中、
寒さに耐えながら
凛と咲く花姿は
美しく心動かされます。

ひばの里 さとやま屋敷
2017年1月19日撮影

2018年「冬咲きぼたん展」

■経緯

冬咲きぼたん展は、当公園の冬季イベントの少ない1月から2月の企画で、開催は平成16年度から始まり今年で14回目を迎えます。当初県内では抑制栽培を行っている生産者がいないため、牡丹の入手が困難であり中国地方で唯一抑制栽培を行っている松江市八束町の「JAしまねくにびき地区本部」の協力を経て現在に至っています。

■目的

冬に咲くように開花時期を調整したぼたんの花鉢を「ひばの里 さとやま屋敷」に展示し、ご来園の皆様へ花と屋敷の味わいのある景色を楽しんでいただけるよう展示を行います。

■開催概要

展示期間 2018年1月13日(土)～2月25日(日) ※休園日:月曜日(休日の場合は翌日休園)

展示場所 ひばの里 さとやま屋敷

展示内容 さとやま屋敷内の日本庭園内を中心に、「冬咲きぼたん」を展示します。ぼたんには藁帽子(藁のコモ)をかぶせて化粧をし、冬の日本庭園にぼたんの色鮮やかな花色を映す展示手法とします。ぼたんは本来4月～5月に開花する花だが、「冬咲きぼたん展」のぼたんはこの時期に花を咲かせるよう開花時期を調整している。



■ボタンについて

昔から、美人の形容に「立てば芍薬(しゃくやく)、座れば牡丹(ぼたん)、歩く姿は百合(ゆり)の花」とあるように、色鮮やかな花を咲かせるぼたん。原産地の中国から奈良時代に薬用植物としてもちこまれ、のちに観賞用として栽培されるようになり、現在にいたるまで品種改良が盛んに行われています。変化に富んだ豪華な花を咲かせることから、富貴・繁栄を表す縁起の良い「富貴花」・「百花の王」とも呼ばれています。



■生産地について

島根県松江市八束町

※温度を利用して開花時期を調整する抑制技術は八束町の特許として申請されており、年間約250種類、150万本が生産され国内はもとより海外にも出荷されています。

【期間中開催イベント】

■幽雅流ぼたん遊ぶ生け花展

展示期間 2018年1月16日(火)～28日(日)

展示場所 ひばの里 さとやま屋敷母屋一階、離れ

展示内容 冬咲きぼたん展示に合わせて一部にぼたんを使った幽雅流生け花を展示します。

※草木の「生きる」姿に魅了された、幽雅流。

四季の花や実、枝や葉は、人の創造を超えた思いがけない表情をしています。その魅力を器に活かすることで、かつて山野で見た懐かしく、優しく、時には力強さを見せる一瞬は、植物たちの誇らしげな姿そのものでしょう。「幽」と「雅」。真逆でありながら共存する幽雅流の意匠、美と技がここに 있습니다。人も花も確かに「生きて」います。

(幽雅流ホームページより <http://www.you-ga.jp>)

